



“楽しい”鑑賞授業づくりのためには、まず先生自身が鑑賞し、その曲に対する様々な思いを持つことが必要です。『教材研究シート』の4回目は、6年生の「バイオリンとピアノのためのソナタ(第4楽章)」です。  
 なお、この【解説編】が聴き方の全てではありません。また、感じ方も人それぞれです。〈あなたならではの〉の気づきを授業に生かしてください。

〔第4回 6年生① 解説編〕

「バイオリンとピアノのためのソナタ 第4楽章」(フランク作曲)

使用する教科書とCDは、教育出版です。一度で聴き取ろうと思わずに、必要に応じて繰り返し何度でも聴いてみましょう。

【聴1】CDのトラック15を聴いて、楽器の音色や旋律の進み方を、大まかに書きましょう。

子どもたちは、3年生の時に「ユモレスク」でバイオリンとピアノの音色に親しんだ経験があります。その時はバイオリンが主役でしたが、今回はバイオリンとピアノがそれぞれ主役になります。“二つの旋律の繰り返し”は、5年生の「カレリア」で経験しています。  
 ※授業の導入で「ユモレスク」を聴いたり、“二つの旋律の繰り返し”の復習として「カレリア」を想起させたりすることも考えられますね。

【聴2】大きく二つの旋律が表れたことに気づきましたか？教科書にも楽譜が載っています。

- (1) ① まず、CDの11・13と12・14でその違いを聴き分けましょう。
- ② CDの15を聴いて、旋律の順番を表に書き出しましょう。

教科書にもあるように、アとイの繰り返しです。聞こえた瞬間、表に○を書きましょう。  
 ※授業では「アが聞こえたら右手、イが聞こえたら左手を挙げましょう。」と投げかけると、子どもたちは更に集中して聴きますよ。

(2) アは、バイオリンとピアノが追いかっこのように演奏します。どちらの楽器が先に始まるでしょうか。また、イは、どちらかの楽器が主役となって演奏します。どちらの楽器が演奏するでしょうか。CDの15を聴いて、表に、「バ」「ピ」と書き加えましょう。

- (3) ① 旋律アについて、先に演奏する楽器が変わると雰囲気はどう変わるでしょうか。また、同じピアノでも、表の⑥のピアノは①・②と比べてどう変化しているでしょうか。
- ② 旋律イでは、主役となる楽器が変わるとどのように雰囲気が変わるでしょうか。

CDの15で、楽器の音色に注目しながら聴き、感じたことを書きましょう。



【聴3】途中(表の⑥と⑦の間で)、曲の感じが大きく変わります。CDの15の2分30秒からじっくりと聴いて、特に印象的な部分について、楽器の音色や強弱の変化などの気付いたことと、感じたこと(イメージや気持ち)を書きましょう。

※教科書p76に、参考になる言葉がたくさん載っています。普段から活用しましょう。

【聴4】CDの15で、曲全体を味わって聴き、この曲の良さやお気に入りの部分を紹介しましょう。【聴1・2・3】で感じたことと聴き取ったことを結びつけて書きましょう。



最初は難しい曲だと思えませんでした。が、繰り返し聴くといろいろと感じ取れるんですね。気が付いたら、今回も10回近く聴いていました。

そのとおり！素晴らしいことに気づきましたね。  
 時には「子どもたちには難しいのでは？」と思うこともありますが、そんなことはありません。視点を与えて何度も聴かせることで、私たちが想像も付かないような素晴らしい発見をします。6年生にもなると語彙も増えてくるでしょう。「どうしてそう感じたの？」と問い返し、教科書を参考にしながらより具体的な言葉で表現させましょう。先生の言葉かけ一つで、感性がどんどん豊かになります。  
 いかがでしたか。楽しく聴けましたか？次回もお楽しみに！





【聴1】全体の印象、聞こえた音や気付いたこと

--	--

【聴2】二つの旋律の特徴

(1) 旋律の順番 (2) 楽器の順番

	①	②	③	④	⑤	⑥		⑦	⑧	
ア	○						変化して、アに似た旋律が出たり、ピアノがソロで激しくなったり、イが出たりいろいろあって…			華やかにフィナーレ
イ										

(3①) 旋律アの聴き比べ

①・②	
④	
⑥	

(3②) 旋律イの聴き比べ

③	
⑤	

【聴3】楽器の音色や強弱などの気付いたこと、感じたこと

--	--

【聴4の前に…ゆとりのある人へのおまけ】表の⑦・⑧はまたピアノから始まりますが、【聴3】を経ることでどのように印象が変わるでしょうか。感じたことを書きましょう。

--	--

【聴4】この曲の良さやお気に入りの部分の紹介




「バイオリンとピアノのためのソナタ 第4楽章」 (フランク作曲)



【聴1】全体の印象、聞こえた音や気付いたこと

難しい。バイオリンとピアノが交互に出てくる。追いかけてこのところと、どちらかがメインになるところ。途中、とても激しくなって、また穏やかに終わる。ごちゃごちゃした曲。

【聴2】二つの旋律の特徴

(1②) 旋律の順番 (2) 楽器の順番

	①	②	③	④	⑤	⑥		⑦	⑧	
ア	○ ピ	○ ピ		○ バ		○ ピ	変化して、アに似た旋律が出たり、ピアノがソロで激しくなったり、イが出たりいろいろあって…	○ ピ	○ ピ	華やかにフィナーレ
イ			○ ピ		○ バ					

(3①) 旋律アの聴き比べ

①・②	ピアノが先導するけど、優しすぎてバイオリンに追い越されそう。
④	バイオリンが先になって、ピアノをリードするような音量。でも、でしゃばるわけではなく、優しく柔らかい音色のように感じる。
⑥	最初に比べて、音が低くなった。左手(？自信がない…)で少し力強く旋律を弾いて、右手の高音で飾っている。

(3②) 旋律イの聴き比べ

③	ピアノが主役のはずなのに、バイオリンも負けていない。
⑤	こちらはバイオリンがスポットライトの当たった主役のよう。ピアノは脇役に徹するように優しく弾いていて、寄り添うような感じ。

【聴3】楽器の音色や強弱などの気付いたこと、感じたこと

バイオリンの旋律アの音色が今までよりも物悲しく感じる。(弱くなったからなのか?)  
 ピアノが低音でバンババンババンと弾いた後、すかさず和音で上昇していくところが、感情があふれ出すようで切ない。その後のバイオリンが、高音から低音、そしてまた低音から高音へと一気に動き、高音でたっぷり弾くところが、嗚咽しているような音色で、もっと切ない。繰り返されるとリズムが少し変化して、大人の雰囲気が倍増する。それが好き。  
 そうかと思ったら、一瞬でピアノの音色が華やかになって、前向きさと落ち着きを取り戻すようになった。そして表7にスムーズにつながった。

【聴4の前に…ゆとりのある人へのおまけ】表の⑦・⑧はまたピアノから始まりますが、【聴3】を経ることでどのように印象が変わるでしょうか。感じたことを書きましょう。

最初の優しくて壊れそうな音色から、気のせいかもしれないが、少し芯のある女性のような、凛とした音色のように感じる。最初よりも強めにはっきりと弾いているのかもしれない。

【聴4】この曲の良さやお気に入りの部分の紹介

バイオリンとピアノの追いかけてこと、どちらかが主役になる旋律が交互に出てきて、楽器の音色が楽しめる曲。私は曲の感じが大きく変わるところが好き。ピアノの和音の上昇やバイオリンの高音が、悲しい感情があふれ出るような、むせび泣くような切ない音色で胸がぎゅーっと締め付けられた。  
 最初に聴いたときは難しかったけど、音色の変化のある素敵な曲だった。

